

町田市議会だより



No.230

令和5年10月30日発行

編集：議会運営委員会 発行：町田市議会
〒194-8520 町田市森野2-2-22

令和5年(2023年)
第3回定例会
8月29日～9月29日

市議会ホームページもご覧ください。

<https://www.gikai-machida.jp/>

町田市議会へのご意見をお寄せください。

電話 042-724-4049 FAX 050-3161-7663
eメール gikai@city.machida.tokyo.jp



町田市議会
スマートフォン
サイト

- ・お寄せいただいたご意見の要旨が広報紙等で紹介される場合がございます。ご了解の上、送信ください。
- ・第三者の誹謗、中傷、個人情報などは送信しないでください。
- ・原則として個別の回答は行いません。



2023年7月にオープンした小山田子どもクラブ「ゆめいく」

9月補正予算を可決 令和4年度決算を認定

主な内容

- 2～4面★一般質問
- 5面★議案審議結果一覧表
- 6～7面★委員会の審査から ★令和4年度決算審査について
- ★委員会の行政視察 ★常任委員会の活動状況
- ★第17期町田市議会改革調査特別委員会を開催
- 8面★可決した主な議案の内容 ★本会議の質疑から
- ★意見書(要旨)
- ★第6回高校生との意見交換会の開催について
- ★令和4年度政務活動費の収支報告について
- ★9月定例会の日程

本定例会は、8月29日から9月29日までの32日間にわたり開催され、議案53件、請願5件を審議しました。

審議の結果、市長提出議案は47件を可決、承認、認定、同意しました。

議員提出議案は5件を可決、1件を否決しました。

また、市民から提出された請願は2件を採択、2件を不採択、1件を継続審査としました。

令和5年度(2023年度)9月補正 会計別予算構成表

(単位：千円)

区分	補正前の額	構成比(%)	補正額	計	構成比(%)
一般会計	174,349,281	56.9	8,350,086 (4号・5号・6号合算)	182,699,367	57.7
特別会計					
国民健康保険計	42,246,889	13.8	609,928	42,856,817	13.6
国事業会計	38,756,050	12.7	1,162,641	39,918,691	12.6
後期高齢者医療計	13,418,061	4.4	159,969	13,578,030	4.3
鶴川駅南土地地区画整理事業会計	434,064	0.1	3,798	437,862	0.1
下水道事業会計	19,284,474	6.3	34,550	19,319,024	6.1
収益的資本的	12,084,916	3.9	34,550	12,119,466	3.8
資本金的	7,199,558	2.4	0	7,199,558	2.3
病院事業会計	17,850,132	5.8	0	17,850,132	5.6
収益的資本的	16,174,706	5.3	0	16,174,706	5.1
資本金的	1,675,426	0.5	0	1,675,426	0.5
小計	131,989,670	43.1	1,970,886	133,960,556	42.3
合計	306,338,951	100.0	10,320,972	316,659,923	100.0

令和5年度 9月補正予算 のあらまし

一般会計と特別会計を合わせた9月補正予算額(第4号、第5号及び第6号合算)は103億209万72千円となります。

障がい者福祉費の障がい福祉事務費：2億996万72千円、医療事業費の国民健康保険事業費：1億133万6千円、児童福祉総務費の児童福祉事務費：676万1千円、保育・幼稚園費の保育・幼稚園事務費：6億636万1千円、生活保護費の生活保護費：740万5千円。

衛生費

保健予防費の保健予防事務費：△722万9千1百円、保健予防費の予防接種費：12億312万8千5百円。

総務費

人事管理費の人事管理事務費：4億664万7千8百円、財政管理費の財政事務費：49億485万2千円、納税管理費の過誤納還付金：1億8千円。

民生費

12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	3月	2月	1月
22日	14日	13日	12日	11日	8日	7日	6日	5日	4日	30日	29日
議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会
議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会

X(旧 Twitter)で発信しています!

町田市議会(町田市公式)
@machida_gikai



議会の情報などをどんどん発信しています。
右上の2次元コードより、フォローをお願いします!

一般質問

9月1日、4日から7日の5日間にわたり、32名の議員が市政を取り巻く諸問題について、意見・提案を交えながら、市長などの考えをたしました。質問、答弁の要旨は次のとおりです。
※議長と副議長は、町田市議会では一般質問を行わないことになっています。

各議員のタイトル下から一般質問の録画映像にアクセスできます。
※動画の再生には別途通信料がかかる場合があります。



へ公共事業を地元の摩産材を



森本せいや(まちだ市民クラブ) 本年度予算編成・市政運営の方針が示された。先頭に立たれる市長の意気込みは。市長 市民誰もが夢を実現できるような経営資源を活用し、全職員が取り組んでいきます。 公共施設再編等、大小様々な公共事業が実施される。市内事業者の受注拡大を全庁一丸となって取り組むべきだ。 榎本副市長 市内事業者の受注機会の確保に向けた指針



デ人ジにタルさし社会い



藤田学(自由民主党) DX推進の今後の取組は。 榎本副市長 申請件数が年間100件以上の手続を25年度までにオンライン化予定で。今後もデジタル技術を徹底活用することで誰一人取り残さない人に優しいデジタル社会実現につなげていきます。 ことにもやさしいまちづくりの今後の実行と具現化を。



タ中学校給食補助拡充



加藤真彦(自由民主党) 工事期間中と整備後金井スポーツ広場の日中と夜間利用は従来どおり可能か。 学校教育部長 グラウンドは地域の方にご利用いただいています。スポーツ利用と同様に、従来どおりご利用いただけるようにしていきます。 市内産農産物を活用する取組は。 学校教育部長 使用食材として野菜13種類を選定しました。これは、小中学校で同じ規格とします。また、地場産農産物を保管できる冷蔵庫により前日の納品が可能となります。市で作成した年間計画に基づいて生産される農産物について、しっかりと活用させていただく予定です。 生分解性マルチに対する補助を求める。 北部・農政担当部長 国や都の動向を注視させていただいた上で、検討していきたい。



アアプリ・ゼル不登校対策・



渡辺さとし(まちだ市民クラブ) タクシーアプリを使いこなせず、移動の足に困っている高齢者への市の対応は。 いきいき生活部長 生涯学習センターの相談会やシルバークリニクスが行う講座、都が行う体験会などがあります。高齢者支援センターでは、これらを紹介しています。 学びの選択肢として、不登校特例校指定のある公立夜間中学を検討してはどうか。 学校教育部長 教育支援センターの拡充や校内教育支援センターの運営をはじめ、学びの多様化学校の設置の検討などを今後行っていく予定です。 町田ゼルビアや地域と連携し、地域外需要の獲得・地域経済循環のための観光施策を検討すべきかどうか。 経済観光部長 アウエーチームのサポートに、市の魅力を発信していく取組の検討を既に進めているところです。



ヤングケアラーへの支援強化！



三遊亭らん文(自由民主党) 市内事業者の受注機会の増大に向けて、今後どんな取組を講じるのか。 財務部長 具体的な指針を年内の策定を目指して検討しているところであり、より一層市内事業者の活用に取り組みでいきたいと考えています。 ヤングケアラーへの支援において、新たな取組を問う。 子ども生活部長 LINE



猛暑対策で公共施設を涼み処に



佐々木智子(日本共産党) 猛暑対策として市民センター等に涼み処(クーリングシェルター)を開設すべきかどうか。 市民部長 市民センターは、来庁者が休憩することを目的とした施設ではないため、涼みどころを設ける予定はありません。 PFI手法の中学校給食センターでは、アレルギー対応をどのように行うのか。 学校教育部長 食物アレルギー原因食材を合計15品目特定し、こちらを使用しない献立を、食物アレルギー専用調理室で調理を行います。 第9期介護保険料は、準備基金を活用して値上げを行うべきではないがどうか。 いきいき生活部長 介護給付費準備基金は、3年に1度立てる介護保険事業計画に基づいて取り崩し、第1号被保険者の保険料に充てています。



給食費無償化の実現を求めて



細野龍子(日本共産党) 学校給食費の無償化を国が実施するまで、都が補助制度を行った場合、活用して実施すべきかどうか。 学校教育部長 全国一律の対応が望ましいと考えています。国や都、他自治体の動向を注視していきます。 子ども食堂の場所確保の支援を求めるがどうか。 子ども生活部長 新規開設を検討している方に対しては、運営場所に関する相談も含め、開設に向けた助言を行っています。具体的には、市で把握している利用可能な施設の情報を提供しています。



公共施設の建て替え/MaaS



木目田英男(選挙区をめぐり) 高度経済成長期に建てられた公共施設の建て替え・集約が進められるが、資材や設備の規格化を進め、工事費の削減を目指してはどうか。 営繕担当部長 工事費の削減など期待できる一方、一括発注で規模が大きくなり、市内事業者が受注できなくなるデメリットもあり、地域特性や周辺住民の要望などを取り入れる必要もあります。建物の計画段階で規格化のメリットも踏まえ検討していきます。 関連する交通事業者やDX事業者とともに、観光MaaSを進めてはどうか。 経済観光部長 より積極的な観光プロモーションが可能となり、利用者にとっても、これまで以上に様々な情報を受け取ることができ、そうした需要もますます高まると考えています。どのような仕組みが有効か考えていきたい。



安全を守る579号推進



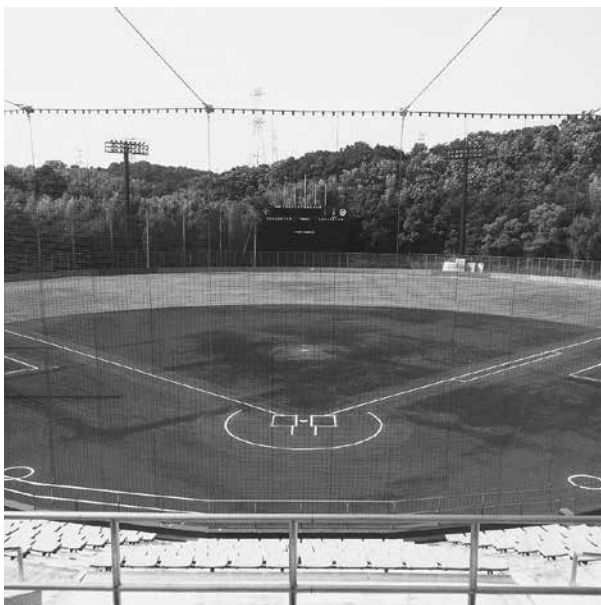
小野寺まなぶ(公明党) 防災・減災での「防災WEBポータル」の活用は。 防災安全部長 台風第2号で土砂崩れが発生し、相原町が一時通行止めとなった際は、町田市防災WEBポータルでも通行止めの周知を行いました。今後も、災害発生や緊急情報の周知を行っていきます。 地域の安全を守る新たな担い手の創出について問う。 防災安全部長 神奈川東部ヤクルト販売株式会社と連携し、23年10月から宅配員がながら防犯活動の腕章をつけ、地域の見守りを行っていたべく取組を推進していきます。 忠生579号線整備に対する市の考え方は。 道路部長 沿道地区のまちづくりや安全性向上に大きく寄与するとともに、上山田エリア資源ごみ処理施設へのアクセス路として重要な位置づけにあると認識しています。



市は野球応援で町田



吉田つとむ(無所属) 小野路のGIONベールボールパークでは、高校野球の応援で、吹奏楽などの鳴り物が使えないでいる。多摩地区の公営施設で唯一であり、早急に改善されたい。 都市整備担当部長 市では、施設運営には近隣住民の皆様、施設利用者のご理解とご協力が必要不可欠であり、施設のルールは適切であると考えています。今後も引き続き大会イベント等の主催者とともに、ご理解、ご協力を得られるように努めていきます。 町田市は災害支援で他の自治体に職員や車両をいち早く出動させたと川西町で聞くが、支援体制の特徴は。 政策経営部長 町田市災害時受援応援計画を策定しています。その中で、各部での役割分担とか、受入れ体制とか、そういうものを明記させていただいているところです。



小野路 GION ベースボールパーク



パーク計画延期を

新井よしなお(無所属)

市計画で伐採した範囲内で、半年もたないうちに2本も倒木した理由は、都市整備担当部長 今回倒れた樹木については、根腐れが原因と考えています。今後は、間伐を行ったことにより改善に向かうと考えています。

契約に関して、今後のスケジュールはどうなるか。

財務部長 プロポーザル説明書にて公表しているスケジ



市民参画の推進

笹倉みどり(まだ市民クラブ)

市民と行政が共通認識を持ち、一層の市民参画の推進を図るために条例策定の進め方や、市民参画に関する統一した要綱を設けてはどうか。

政策経営部長 市は市民意見を広く聞く取組を行っています。政策検討過程で市民意見募集ですとか、事業実施後は事業評価などにより市民が参加できるよう、様々な手法を取り入れています。したが



大蔵小鶴一小的統廃合について

田中美穂(日本共産党)

2032年度に統合予定の大蔵小と鶴川第一小だが、2023年の児童推計で2029年度、19学級と18学級となっている。今後の対応は、学校教育部長 意見交換会を実施する29年度に向け、望ましい学級数を実現することが可能なかという視点から、児童数の状況を注視します。

鶴川駅周辺再整備事業において、使いやすい公共ト



脱炭素化・子ども食堂・傍聴

秋田しづか(諸派)

新たな学校づくりにおいて町田市でも二アリーゼを目指すべきでは。

学校教育部長 太陽光発電パネルを最大限設置するなど

子ども生活部長 各食堂の



移転後の子どもセンター他も

松葉ひろみ(公明党)

移転後の子ども発達センターはどう変わるのか。

榎本副市長 これまで以上に医療的ケア児や重症心身障がい児の受入れを検討しています。具体的には医師を配置し、療育などを実施したいと考えています。また、水訓練室等の設置を検討しています。

子ども生活部長 設置は努力義務となっており、市では



若者総合相談センター設置を

山下てつや(公明党)

設置していません。都では、東京都若者総合相談センター若ナビαを設置しており、都内在住、在学、在勤の若者とその家族が利用できます。

子ども生活部長 設置は努力義務となっており、市では



市職員の人材育成

佐藤伸一郎(自由民主党)

市職員の人材育成について、現状では、どのように取り組まれているのか。

榎本副市長 20年度に策定した第4期町田市職員人材育成基本方針では、目指す職員像を「みんなを思いやり、自ら考え、自ら行動し続ける職員」と定め、研修、人事異動、人事考課や職員採用等を活用

子ども生活部長 国では、子ども誰でも通園制度(仮



未就学児子育て支援/終活課題

松岡みゆき(無所属)

市の休日保育の内容は、子ども生活部長 月曜日から土曜日まで在籍園での休みに替え、日曜日や祝日に利用できる制度です。市内に休日保育実施園は2園あります。

相模原市が理由を問わず日曜・祝日に子供を預けられる保育施設を24年度に整備する。町田市も導入しては。

子ども生活部長 国では、子ども誰でも通園制度(仮



子供の命を守る水泳環境を求め

渡辺厳太郎(選ばれる町をこる会)

学校プールの数は統廃合で大幅に減少する。いざという時に命を守る泳力を育むことは義務教育の重要な役割であるので適切な設置を求む。

学校教育部長 新たに建て替える学校で、屋内プールを想定しており、水温調整用に給湯器などの設置と簡易な空調設備の導入を検討しています。これにより、4か月程度の授業期間を確保できる見込



令和6年度予算編成方針を問う

白川哲也(選ばれる町をこる会)

令和6年度は19億円の収支不足を見込んでいますが、現在の物価高騰などの影響により、さらなる歳出の増加が想定される。どのように予算編成を行うのか。

市長 国、都の補助制度活用、企業版ふるさと納税による資金調達や市有財産の活用など、あらゆる手段を講じて歳入確保を徹底していきます。また、全ての事業につい

事業があります。どちらも生活環境と防火機能の向上を目的に建築基準法第42条第2項の道路を対象とした事業です。



生活環境を整備を求める環

中川幸太郎(諸派)

情報紙「ぶらっと」の周知にSNSの活用を求める。政策経営部長 周知方法として、子育て世代をターゲットに、より情報が届きやすくなるよう、議員ご提案のLINEなどのSNSの活用も視野に検討していきたい。

未整備の道路を拡幅するための市としての取組は。道路部長 狹隘道路拡幅整備事業及び生活道路拡幅整備



笑顔あふれる町田をめざして

熊沢あやり(諸派)

通学時の児童の荷物が多いという課題があるがどう考えているか。

学校教育部長 今後建て替えるプールを設置する学校では、屋内化による教育環境向上を図ることを考えています。



やまゆり号
(子ども発達センター前に展示)



市民中心のスマートシティを



村まつ俊孝(公明党)
町田市のデータ活用について、今後の展開は。
榎本副市長 1点目は、オープンデータのさらなる拡充です。2点目は、ジェネレーティブAIを活用した市政情報提供です。具体的には、チャットGPTに市のデータを学習させ、市の情報を幅広く回答できるAI検索サービスの実現に向け、研究を進めます。3点目は、人流データの活用です。具体的には、スマートフォンユーザーのGPSデータ、天候データや購買データなどを組み合わせ、高精度な分析ができるサービスを試験導入する予定です。例えば中心市街地において曜日や時間帯ごとにどのような年代の方がどのような店舗を回遊しているのかを分析できます。データ活用をさらに進めることでスマートシティの実現につなげていきます。



町田発日本初の取組を活かせ！



今村るか(まちだ市民クラブ)
現状での展示をしていくこととしており、長期的な計画については未定となっています。
岡田 民間では市の鳥・市花をモチーフにゼルビー・サルビアン等、町田の魅力を発信中。町田も市の花・コンテナツ等活用し魅力の発信を。
総務部長 市の木、花、鳥の活用は、マンホール蓋とか、ナンバープレートのデザインなどに取り入れられ、市として広く活用しています。



猫相手術／トイレ砂災害

小野りゅうじ(まちだ市民クラブ)
飼いのいない猫の不妊・去勢手術費用補助の当初予算の確保を、しっかりと行っていくべきではないか。
保健所長 共生モデル団体や個人の方の活動状況についてしっかりと実績を把握し、予算の確保に努めていきたいと考えています。
岡田 公共トイレ空白地域は、どこに存在しているのか。
環境資源部長 公共トイレ空白地域は、相原町、小山市、金井町にあり、当該地域の店舗に協力をお願いする予定です。



学校統廃合／防犯

東友美(まちだ市民クラブ)
学校統廃合について、「計画を実行に移す際には柔軟性を持つて対応する」と答弁しているが、「柔軟性」をどのように捉えているのか。
学校教育部長 児童生徒数が増える場合や、より望ましい学校候補地があった場合は、見直しを行うこととしています。引き続き、保護者や地域の方から寄せられた意見を伺いながら進めていきます。
防犯安全部長 他市の事例を参考に検討していきます。



透析予防受診勧奨と三輪緑地！

おく栄一(公明党)
透析患者への移行を予防する有効な取組ですので、実施に向けて検討していきます。
岡田 三輪緑地供用開始に向け、拠点づくりのためにどのような整備を進めていくのか。
都市整備担当部長 今後は、早急に市民の皆様へ還元できるように、段階的に供用区域を拡大させていく必要があると認識しています。現状のニーズに合わせた基本計画の修正等を行っていきます。



消防署前の交通安全対策を問う

殿村健一(日本共産党)
町田消防署前、本町田小隣接地の店舗駐車場から出た車による死亡事故が発生したが、交通安全対策を問う。
学校教育部長 事故発生後の学校の対応ですが、翌日から1週間程度は事故現場付近で教員が見守りを行いました。また、児童に対し、気を付けて下校するよう全校朝会において注意喚起を行いました。
岡田 森野住宅周辺地区まちづくり構想における公社森野住宅居住者への対応を問う。
都市整備担当部長 まちづくり検討の進捗に応じて東京都住宅供給公社と相談しながら、居住者への情報提供など対応を検討していきます。
岡田 多摩都市モノレール町田方面延伸事業について、ルート検討後の最大課題は何か。
都市づくり部長 収支採算性の確保が課題であると認識しています。



ギガスクール子ども食堂構

おんじょう由久(公明党)
不登校児童生徒に向けたオンライン授業実施状況は。
指導室長 希望する児童生徒に行っています。児童生徒ごとに不登校の要因や希望する対応が異なるため、確認し、実施方法を決めています。
岡田 校外自主学習のため、地域のWiFi環境整備を。
市民部長 WiFi環境整備については、コミュニティセンター内の配線工事が必須となります。予算上の制約がありますが、進めていきたいと考えています。市民センターについても同じ考えです。
子ども生活部長 新規開設のご相談に対し、子ども食堂ネットワーク連絡会の紹介や補助金について説明しています。子ども食堂のマップについては、市のホームページに掲載する方向で進めています。



人材育成／認知症

若林章喜(選ばれる町をつくる会)
民間との人事交流を活かす。
市長 仕事に対する意識、考え方に触れられる、大事なことと思っていますので、人事交流は積極的に進めてまいりたいと考えております。
岡田 町田市教育プラン24-28の原案が策定された。教員のやりがい高める取組をすべきかどうか。
学校教育部長 教員向けのアンケート調査に、やりがいを感じているかという項目があり、大変そう思う、そう思うと回答した教員は88.1%でした。今後もやりがいにつながる支援を行っていきます。
岡田 認知症治療薬「レカネマブ」が承認される見通しである。町田市の認知症対応について問う。
いきいき生活部長 国の動向を注視し、情報収集を行っていきます。



いじめ加害者に指導対応徹底を

矢口まゆ(諸派)
市内でいじめ被害により転校したケースはあるか。
指導室長 事例が少なく、個人の特定につながる可能性があるため、お答えすることはできません。
岡田 町田市ではこれまでいじめ加害者を出席停止にしたことはあるのか。
指導室長 これまで出席停止の措置を講じたケースはありません。安易に出席停止措置を取るのはなく、一人一人に寄り添った指導、支援を行っていくことが重要で、出席停止の制度を適切に運用することが必要と考えています。
岡田 加害者を出席停止とした期間の学習機会の提供、出席停止手続きに必要な対応の流れ、必要な申請書類の様式などをまとめておくべきでは。
指導室長 他の自治体の取組について、参考にさせていただきます。



マイナポイントの結果

おせき重太郎(諸派)
マイナンバー情報の紐づけなどで、町田市のミスはなかったですか。
市民部長 公金受取口座の誤登録やマイナポイントを別人に付与する事案を含めて、ミスは発生していません。
岡田 どのような自治体や機関が事務手順に疑義があると判定されましたか。
市民部長 基本4情報のうち、一部だけを用いて照会し、該当者が複数いた場合の対応を定めず、担当者の判断に任せていたため、ひもづけ誤りが発生しているおそれがある自治体となっています。
岡田 市民の不安を取り除くため、マイナンバー情報総点検の結果や町田市の取組をPRすべきではないですか。
市民部長 市ホームページのほか、メール配信やSNSを活用し、市民の皆様へ発信していきたいと考えています。

用語の解説 本文中の青文字の解説です

- ◎生分解性マルチ 【2面】
農業生産において、作物収穫後に土壌中にすき込むと、微生物により水と二酸化炭素に分解する資材のこと。
- ◎学びの多様化学校(いわゆる不登校特例校) 【2面】
不登校児童生徒等を対象とする特別の教育課程を編成して教育を実施する学校。文部科学大臣が学校を指定し、特定の学校において教育課程の基準によらずに教育を実施することができる。
- ◎ヤングケアラー 【2面】
本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話を日常的に行っている子どものこと。責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがある。
- ◎プレコンセプションケア 【3面】
若い男女が将来の妊娠やライフプランを考え、日々の生活や健康に向き合うこと。

審査から 令和4年度 決算を審査

本定例会では、決算についても各常任委員会で審査しました。各常任委員会では活発に質疑が行われ、決算審査の結果「認定すべきもの」と決し、多数の意見が付されました。

健康福祉

9月11日・12日・19日に議案22件、認定2件、請願1件の審査を行いました。

町田市プールの衛生管理等に関する条例の一部を改正する条例

委員 第89号議案から第97号議案は、公募とのことだが、22年の6月議会の行政報告で、高齢者サービスセンターは民営化する方向で調整をしているという話があったが、今回の公募の契約の中に、民営化が条件になっているのか。

いきいき総務課長 次期指定期間は5年となりますが、それよりも早く民営化したいということになりましたら、民営化が実現できるように進めていきたいと考えています。

委員 町田市プールの衛生管理等に関する条例の一部を改正する条例

指定管理者の指定について

委員 第88号議案から第98号議案まで一括して審査

生活衛生課長 フィットネスクラブ、学校にある一般開放している町田第一中学校等のプール、そういった多くのプールが該当になります。

委員 衛生管理などの許可が事業者が変わっても継承できるといえることになると、利用者の安心安全面は、損なわれることはないのか。

生活衛生課長 事業者が変わるといえることを前提に法律の改正がされています。設備面、衛生面については、担保されていることが前提ですが、やはり営業者が変わると、保健所としても確保されているかの確認は必要と考えていますので、速やかにしっかりとやっていきたいと思っています。

総務

9月11日・12日・19日・29日に議案5件、認定1件の審査を行いました。

令和5年度（2023年度）町田市一般会計補正予算（第5号）

入費補助事業

委員 申請するのに領収書等、レシートが必要だと思うが、4月1日からの間に購入した人と書いてあつて、これがあることを知らないで、領収書を取っていない人とか、救済措置は何かないのか、対象者1人につき1回の申請に限るといって、保護者と未成年者、子どもと1回ずつということになるのか、教えてほしい。

市民生活安全課長 領収書をもう既に紛失されてしまった方の対応という話だと思いますが、市としても公金で支出する以上、客観的事実というか、購入した事実を確認することが必要だと思いますので、購入日等が分かる領収書等がない場合は、原則的には補助金の交付対象にはならないというふうに認識しています。ただし、先行して実施している他市の取扱い、例えばインターネット購入であれば、購入履歴を領収書の替わりとしたりだとか、購入店から領収書に替わる書類を再発行して、それをもって対応するといった運用をされているといったことも伺っていますので、そんなことも参考にしながら、取扱いについては考慮していきたいと考えています。保護者、未成年者の場合というところで、考え方としてはお子さんの申請で1回、保護者の方も1回、おのおのに申請ができるといった考え方はあります。

決算審査（健康福祉）

認定すべきものと決定

- 民生・児童委員の欠員による空白地区をなくすために、委嘱年齢の引き上げなど、東京都と協議をしながら、地区のかけもちなど過剰負担が生じないようにされたい。
- 障がい者の移動支援サービスについては、その対象者を拡大し、サービスを維持するためにも事業者を増やす取り組みを図られたい。
- 介護職員離職率が減少はしているというものの、現状では他の分野に比べ著しく高い離職率を解消する施策を図られたい。
- 今後見守りが必要な方が増加するにあたり、見守りの在り方について、庁内他部門との連携やテクノロジーの活用等検討されたい。
- 就労準備支援事業については、積極的に拠点整備や周知に努めるとともに、子ども・若者育成支援推進法の視点からも子ども生活部をはじめ庁内他部署との情報共有や連携強化に努められたい。
- 乳がん検診の実施できる医療機関を隣接自治体も含め、さらに増やされたい。
- 産後ケアについては、第2子以降であっても利用しやすいよう子どもの預け先についての対応を進められたい。また、市民病院の保育室との連携等、同施設での預かりを検討されたい。
- 若者の支援ニーズが定まらないケースにおける支援体制構築のために、子ども・若者育成支援推進法の視点からも子ども生活部をはじめ庁内他部署との情報共有や連携強化に努められたい。
- 糖尿病重症化予防について、受診しやすい環境整備やプログラムへの参加人数を増やすなど効果的な予防を行うため、積極的な参加勧奨と意義の周知を図り、オンライン面談をはじめITやICTの利活用等も積極的に検討されたい。
- 認知症とともに生きるまちづくり実現のため、認知症サポーター養成講座受講者増加に向け、さらなる周知を図られたい。
- 後期高齢者医療保健事業に関して、多様な健康増進施策を拡充し、医療費増大の抑制を図られたい。

【認定第3号】

- 院内保育については、定員に対し利用者が少ない状況が続いていることから、病院利用者の子どもの受け入れを実施されたい。
- 多摩地域の中でより上位の医療収益性の向上を目指し、診療内容の高度化に努められたい。

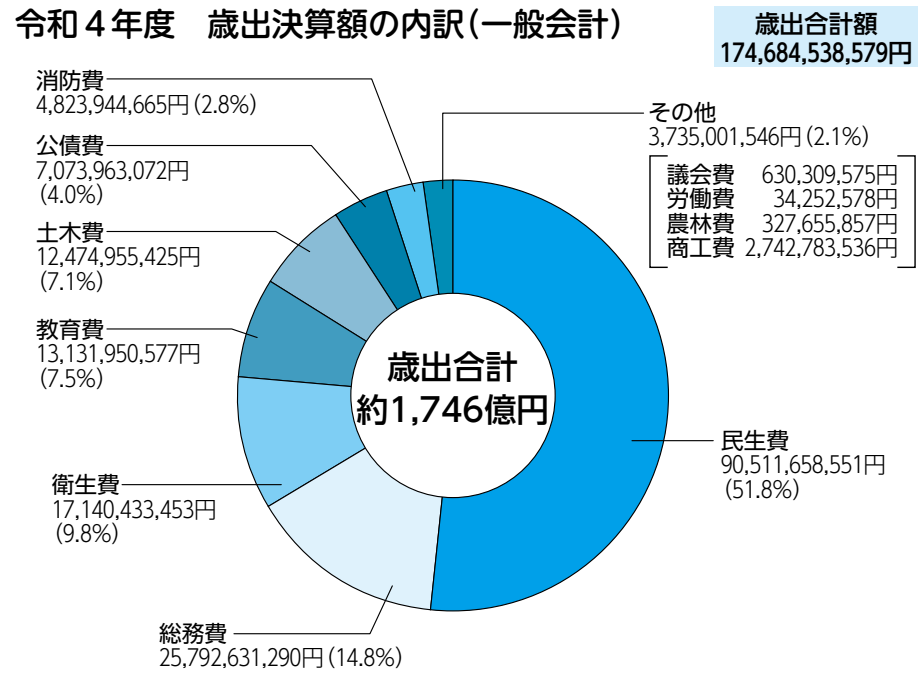
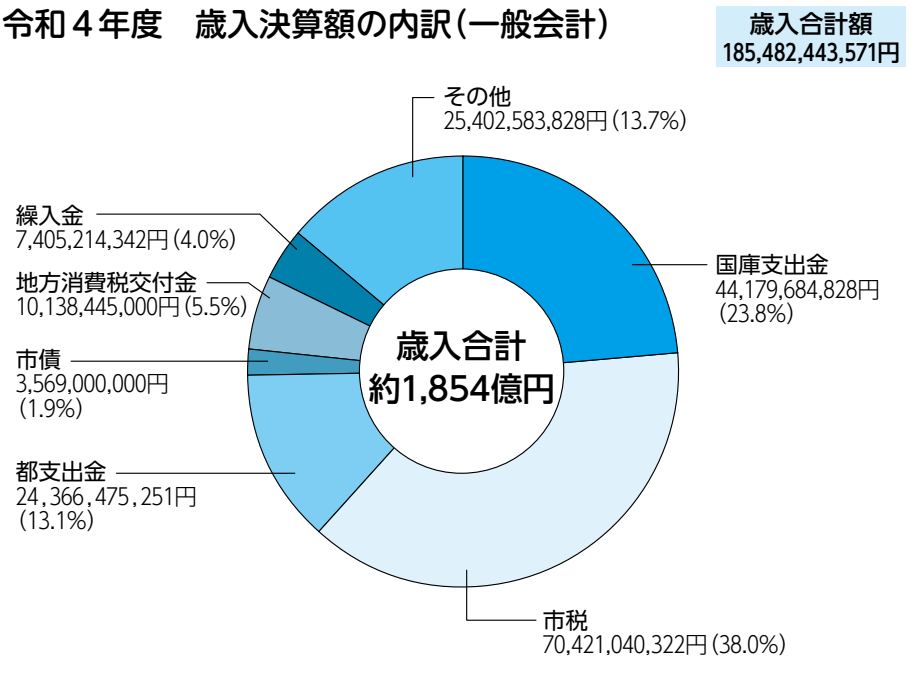
など計51件の意見を附帯決議として付しました。

決算審査（総務）

認定すべきものと決定

- 適正な予算執行のために、流用・不用額の原因が発生した場合には早期に補正予算を組むように努められたい。
- 総務省の「就職氷河期世代支援の『第二ステージ』」に向けた地方公共団体での中途採用の取組の一層の推進について」通知に基づき、引き続き就職氷河期世代の職員採用を進められたい。
- メディアプロモートに関連する各種取り組みが、多くの方の目に止まり、町田市のイメージ向上・市内経済の活性化につながるよう取り組まれたい。また、SNSをはじめとするWEB媒体は、若年層へアプローチされやすく、拡散力が大きいいため、取り組みを強化されたい。
- システムのクラウド化に伴いクラウドサービスの管理を徹底されたい。
- ふるさと納税にあつては、より一層魅力を増して、納税額の流出を少しでも減らされたい。
- 市内排出の温室効果ガス排出量を、2030年までに99万8千トン-CO₂にするため、市庁舎を含む市所有施設での再エネ化や電力事業者の変更などあらゆる施策を行い、2050年に温室効果ガスの排出ゼロを目標とする「ゼロカーボンシティまちだ宣言」の達成に向け努力されたい。
- 公共施設再編事業において、計画変更が行われる際は、全庁的に丁寧な説明に努め、進められたい。
- web口座振替受付サービスの利用件数を鑑み、予算を策定されたい。
- 市税や国民健康保険税等の滞納整理にあつては、生活再建のための相談業務を充実されたい。
- 勤労者福祉サービスセンター加入事業所数の減少が続いている中、他団体との役割の差別化、新たなニーズの掘り起こしなど、抜本的な対策を図られたい。
- 農地再生事業について、農道整備を含め、効率的で効果的な農地再生に努められたい。
- 原町田大通りの滞留空間設計、整備については、周辺ビル関係者の理解と協力で進められたい。
- 町田市地域防災計画修正においては、地区地域において、偏りが起こらないよう努められたい。
- 東京都住宅供給公社との協定の周知に努め、活用化に努められたい。
- 各部による運営交付金決算内訳書に互助会費を計上している部と、していない部がある。運営費に疑義を持たれないよう管理されたい。

など計63件の意見を附帯決議として付しました。



付託された議案等を審査委員会

町田市議会には、4つの常任委員会が設置されており、本会議で付託された議案・請願、所管事務調査による行政報告等、各所管事項について詳細にわたり審査を行っています。その中から、各常任委員会の主な審査状況をお知らせします。

建設

9月13日・14日・21日に議案8件、認定2件の審査を行いました。

小山田蓮田緑地整備工事請負契約

委員 サービス施設整備工として、ベンチやかまどベンチ、野外卓、水飲みとあるが、これは災害拠点というふうになるのか。また、駐輪場を整備されているのか。駐輪場の台数と有料かどうかも教えてほしい。

公園緑地課長 災害拠点かどうかですが、まだ実際に指定されているわけではありませんが、平地がありますので、そこはそういった視点も含めて検討していきたいと思います。駐輪場はあります。それから駐輪場は、図面上で仮設駐輪場と書いてあります。これは、通常は公園利用者の多目的広場としてご利用いただくと考えているものです。7月の終わりから8月にかけて

文教社会

8月29日、9月13日・14日・21日に議案8件、認定1件、請願3件の審査を行いました。

小山田小学校の廃校時期見直しの議論を求める請願

委員 スクールバスの運用についても検討はされていると思うが、学童保育のところはどうなっているのか。

新たな学校づくり推進課長 20年度の審議会の話になりますが、スクールバスのような路線バス以外の方法も活用していくことが必要だという認識でいるところです。この小山田地区においては、通学の負担軽減策などについて、対象地域の公共交通機関や道路の状況、そのときにどれぐらいの子どもたちがいるかという人数などを踏まえて、総合的にどのような方法が適しているのか、これから設置をしていくと考えています小山田地区の基本計画検討会で具

体的な検討をしていく中で、学童保育のことも含めてどういう手当が必要なのかというものは、子ども生活部と一緒に考えていくというスタンスです。

委員 統廃合の候補地を決めたときに、小山田小学校、小山田南小学校の候補地についての議論ではどんな審議が行われたか、簡単にご紹介をいただきたい。

新たな学校づくり推進課長 大きな視点としては2つです。子どもたちが通学しやすい場所に位置があるかどうかという視点と、これから学校環境、学校の施設環境というものが大きく変わっていくことが予想されるので、ゆとりある施設環境がつくりやすい場所はどこなのかという視点で議論をさせていただいて

ての花の時期は、遠方からもおいでになる方がいらっしやいますので、ここを仮設の駐車場ということで、その期間だけお使いいただけるようにしようかと考えています。台数は約20台を予定しています。駐車場は無料と考えています。

委員 多目的休憩棟とあるが、どのような内容か。

公園緑地課長 公園を利用なさる方の休憩にご利用いただく施設と考えており、開放する形でご利用いただくと考えています。トイレとかもあります。

委員 遊具広場にインクルーシブとあるが、これは結構大きなインクルーシブ遊具を想定されているのか。

公園緑地課長 インクルーシブ遊具の複合型のもので、インクルーシブ遊具としては普通の大きさだと思います。

決算審査（建設）

認定すべきものと決定

- 公共施設における温室効果ガス排出量の削減については、実施に向け取り組まれた。
- 温暖化ガス削減の効果を上げるために家庭や小規模事業者の取り組みを増やす必要がある。太陽光発電、蓄電池など助成金額、助成対象を大幅に拡充されたい。
- さらなる再生可能エネルギー導入のために、市内の高校・大学・工場等中規模導入が見込める施設への検討を推進されたい。
- さらなる水素エネルギーの利活用を推進するために、普及啓発の取り組みを強化されたい。
- 公共用水域の水質改善へ向けて、公共下水道への接続や合併処理浄化槽への切替え啓発活動をさらに強化されたい。
- 資源化施設整備については、まちづくりの拠点となることを地域住民と共有し、推進されたい。
- 財源確保については、引き続き様々なチャンネルを活用し積極的に取り組まれたい。
- 歩行者や自転車が安全安心に利用できる交通環境のため、自転車空間や自転車レーンの整備の充実を図られたい。
- 狭あい道路拡幅事業については、引き続き、市職員の住民に対する丁寧な説明を行われたい。
- エレベーター・エスカレーターの老朽化が進み、今後、更新時期が集中するため、維持管理費の縮減と平準化を進められたい。
- 景観の取り組みについては、景観施策について検討を進め、市民の声をよく聞いて、「町田市景観計画」を策定されたい。
- 地域支え合い交通の補助金の使用用途について、事業主体の要望を踏まえ、柔軟に対応されたい。
- コミュニティバス運行事業において、新型コロナの影響により減便したルートについて利用者数の増が見込める場合、増便されたい。
- 地域や事業者が主体となった移動支援の取り組みに対し、財政的な支援を事業継続・事業拡大に努められたい。
- 3・4・11号線（原町田）の用地取得に当たっては、地権者の状況に寄り添い丁寧に進められたい。
- 空家所有者への適切な管理の啓発を進め、空家近隣住人の要望に対応されるとともに、空家の発生予防のため、持家に住まわれる所有者への啓発をしつつ、今後の法改正を注視されたい。

など計53件の意見を附帯決議として付しました。

決算審査（文教社会）

認定すべきものと決定

- 町内会・自治会の加入率減少の要因については、さらに踏み込んで単体自治会に寄り添いながらヒアリングするなどし、町内会・自治会連合会と連携し、加入促進に努められたい。
- 町田市地域活動サポートオフィスなどの施策においては社会教育士など有資格者の育成・活用に努められたい。
- 性の多様性への理解促進事業の拡充と、性自認及び性的指向に関する相談窓口の周知を強化されたい。
- 市民の書く手間を省く「窓口申請支援システム」の全庁的な活用について、推進されたい。
- 一時保育の予約の取りやすさについては、地域ごとに異なったり、月によって異なったりしている現状があるため、あらゆる選択肢を排除せず、必要な人に必要な時に保育が提供できるよう対応されたい。
- 保育士確保事業において、専門学校や短大などへの説明会をアウトリーチで行うことを検討されたい。
- ショートステイ、トワイライトステイについては、利用ができないケースも発生していることから、施設での預かりだけでなく、居宅訪問によるサポートについても検討されたい。
- 冒険遊び場は、子どもの居場所というだけでなく、「屋外型子育て支援」の場として、関係部署との連携を検討されたい。
- 一人一台タブレット端末環境を維持するため、端末の修理予算を確保されたい。
- 小中学校におけるタブレット端末の取り扱いについて、リテラシー向上に、より努められたい。
- 「hyper-QU」の継続的な活用においては、幅広い学年での活用を検討されたい。
- 小中学校において、災害時にもWi-Fiが利用できるように、環境整備をされたい。
- スクールカウンセラー、教育センターのスクールソーシャルワーカー増員を早期に実現されたい。
- 「新たな学校づくり推進計画」において、保護者、市民に対して、説明会などを行い、さらなる丁寧な対応に努められたい。
- 自由民権資料館について、専門職の研修を適切に行い、育成を図られたい。そして、公文書の整理などに関わる者についてはアーキビスト研修など専門的な知識の取得に努められたい。

など計76件の意見を附帯決議として付しました。

第17期町田市議会改革調査特別委員会を開催

8月30日、9月29日に開催され、以下の付議事件について審査が行われました。

付議事件

①議員の調査活動等に関する事項

②議会の権能・機能強化に関する事項

③議会の情報提供に関する事項

の調査・検討

委員会の行政視察

各委員会は、情報を収集し、専門的知識を深め、優れた施策を市政に反映させるため、先進地等を視察して、特定事件について調査をします。議会運営委員会が次のとおり視察に行きました。

委員会	年	令和5年(2023年)			
		日程	視察先	視察項目	視察内容
議会運営委員会	7月31日～8月2日		川崎市(神奈川県)	議会改革(議会機能の強化)の取り組みについて 予算・決算の委員会審査について 傍聴の字幕対応について	議会改革(議会機能の強化)の取り組み、予算・決算の委員会審査の運営方法、傍聴の字幕対応について調査しました。
			枚方市(大阪府)	議会改革(議会機能の強化)の取り組みについて 予算・決算の委員会審査について	議会改革(議会機能の強化)の取り組み、予算・決算の委員会審査の運営方法などについて調査しました。
			堺市(大阪府)	議会改革(議会機能の強化)の取り組みについて 予算・決算の委員会審査について	議会力向上会議の取り組み、予算・決算の委員会審査の運営方法などについて調査しました。
			姫路市(兵庫県)	議会改革(議会機能の強化)の取り組みについて 予算・決算の委員会審査について	議会政治倫理条例、議会棟のセキュリティ、予算・決算の委員会審査の運営方法などについて調査しました。

～常任委員会の活動状況～

町田市議会では、常任委員会の活動として、市内の各種団体の皆さんと懇談会を開催し、市民と議会の意見を交換する場としています。懇談会で出された意見については、議会活動に反映させていただきます。9月までに開催した懇談会は次のとおりです。

日付	団体名	内容	対応した常任委員会
9月27日	町田市障がい者福祉懇談会	○障がい児・者に必要な災害備蓄品について等	総務
9月28日	特定非営利活動法人 東京養育家庭の会 みどり支部町田	○養育家庭について意見交換	文教社会

可決した主な議案の内容

第73号議案 町田市鶴川緑の交流館条例の一部を改正する条例

町田市鶴川緑の交流館に設置する自転車駐車場等の利用時間及び駐車料金を設定するため、所要の改正をするものです。

第74号議案 町田市プールの衛生管理等に関する条例の一部を改正する条例

生活衛生関係営業等の事業活動の継続に資する環境の整備を図るための旅館業法等の一部を改正する法律の施行に

本会議の質疑から

条例・その他

第73号議案 町田市鶴川緑の交流館条例の一部を改正する条例

議員 改正の目的、駐車料金について。

文化スポーツ振興部長 改正の目的についてですが、現在、町田市鶴川緑の交流館には無料の自転車駐車場を設置していますが、施設利用者以外の方の駐車が多く、施設を利用する方が駐車できない状況が発生していることから、駐車場に利用時間及び駐車料

伴い、関係する規定について、所要の改正をするものです。

第77号議案 町田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例

就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の改正に伴い、関係する規定を整理するため、所要の改正をするものです。

第78号議案 町田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例の一部を改正する条例

子が2人以上いる保護者について、保育所等の利用者負担額の軽減を図るため、所要の改正をするものです。

議員提出議案

意見書(要旨)

本定例会では意見書5件を可決し、議長名で関係行政庁へ提出しました。要旨は次のとおりです。

旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者等に対する幅広い救済を求める意見書

旧優生保護法が96年に改正され優生手術に関する規定が削除されました。この間法律のもとで手術を受けた方は約84000人とされています。この方々に対して19年4月に議員立法で一時金の支給が開始されましたが、23年の7月末までに認定されたのは1054件しかありません。これは優生手術が20年以上前のことであること、精神障がい、知的障がい等により被害の把握に困難が伴うことも一因です。請求期限が24年4月23日と迫る中、当事者の幅広い救済に向けて国が責任を持つよう求めるものである。

内閣総理大臣ほか4件宛て
下水サーベイルランス事業の実施を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の5類移行後、正確な感染状況が見えづらくなっている。今後起こりうる感染のピークや傾向を把握するためにも、新たな感染症に対応するためにも、「下水サーベイルランス(疫学調査)」を全国の地方公共団体の下水処理場で実施すべきである。地域の感染の初期段階から兆候が分かる可能性があり、その後の感染規模や増減の傾向も把握できる。国においては、早急に、「内

閣感染症危機管理統括庁」が司令塔となって、厚生労働省、国土交通省、各地方公共団体が連携して下水サーベイルランス事業を全国展開することを強く要望する。

内閣総理大臣ほか5件宛て

脱炭素と自然再興に貢献するサーキュラー・エコノミー(循環型経済)の推進を求める意見書

気候変動防止に向けた脱炭素化(カーボン・ニュートラル)や、生物多様性への自然再興(ネイチャー・ポジティブ)は、人類社会を持続可能にする最重要課題であり、そのため、資源効率性の最大化と環境負荷の低減の両立を目指すし、リニア・エコノミー(直線型経済)から、サーキュラー・エコノミー(循環型経済)への転換が必要である。政府に対し、循環経済関連ビジネスを新たな成長産業として位置づけ、脱炭素と自然再興に貢献するサーキュラー・エコノミーの実現を目指し、特段の取組みを要望する。

内閣総理大臣ほか6件宛て
ブラッドパッチ療法(硬膜外自家血注入療法)に対する適正な診療上の評価等を求める意見書

交通事故、スポーツ、落下事故、暴力など全身への外傷等を原因として発症する脳脊髄液漏出症(減少症)の治療法であるブラッドパッチ療法が2016年より保険適用となった。しかし、保険適用の要件に掲げられている「起立性頭痛を有する患者に係るもの」という条件を伴わない患者がいるため、医療の現場では混乱が生じている。また、脳脊髄液の漏出部位は一箇所

とは限らず、頸椎や胸椎部でも頻繁に起こることが報告された。以上の新たな現状を踏まえ、2点において適切な措置を講ずるよう強く要望する。

内閣総理大臣ほか6件宛て

018サポートの給付金を生活保護の収入認定から除外するよう調整することを求める意見書

2023年9月1日から申請が始まった東京都の「018サポート」は、都内在住の全ての18歳以下の子どもに対し、1人当たり月額5000円(年額6万円)を支給し、学びなど子どもの育ちを切れ目なくサポートする事業である。子育て世帯に歓迎される事業であるが、生活保護受給の場合、収入認定され、その分の生活保護費が減額となることから、実質的に恩恵を受けられない実情がある。そこで、生活保護世帯については、支給額を収入認定から除外するよう可及的速やかに再調整を求める。

東京都知事ほか1件宛て

第6回 高校生と町田市議会議員の意見交換会の開催について

今年で6回目となる高校生と町田市議会議員の意見交換会を次のとおり開催します。

日時 11月5日(日) 13時30分～16時

内容 以下のテーマに沿って意見交換をします。

テーマ①「政治を身近に感じてもらうには？」
テーマ②「自分が市長だったら何をやりたいか？」
※詳細は町田市議会ホームページをご覧ください。

都立小川高等学校と町田市議会議員の交流授業について

10月20日に都立小川高等学校にて、3年生を対象に開催された「町田市議会議員の仕事を知るパネルディスカッション」に各会派から代表の議員が参加しました。高校生からの、「なぜ議員になったのですか」、「今後どんな町田市にしていきたいですか」などの質問に対し、それぞれの議



員の考えなどを話し、活発な質疑応答が行われました。

令和4年度政務活動費の収支報告について

条例に基づき、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、会派に対し政務活動費が交付されています。毎年度、その

収支について、領収書等の必要書類を添えて議長に提出することが義務付けられています。令和4年度の会派別収支は次の表のとおりです。

会派ごとの収支報告書及び領収書等については、市庁舎3階の議会図書室で閲覧することができ、市議会ホームページでもご覧いただけます。

令和4年度政務活動費会派別収支報告一覧表

(単位:円)

会派名	まちだ市民クラブ	公明党	自由民主党	選ばれる町田をつくる会	日本共産党	無所属	諸派(おげき重太郎・矢口まゆ)	諸派(熊沢あやり)	諸派(中川幸太郎)
所属議員数(令和5年3月31日時点)	9人	6人	5人	5人	4人	3人	2人	1人	1人
交付月数	12ヶ月分	12ヶ月分	12ヶ月分	12ヶ月分	12ヶ月分	12ヶ月分	12ヶ月分	12ヶ月分	12ヶ月分
収入額(交付額)※	6,480,000	4,320,000	3,600,000	3,600,000	2,880,000	2,160,000	1,440,000	720,000	720,000
実支出額	人件費	0	0	0	0	0	0	0	0
	調査活動費	505,926	1,820,916	432,528	588,066	137,880	415,200	69,031	0
	研修・研究・会議費	346,646	142,220	9,000	56,227	0	47,750	0	0
	資料作成費	3,962	0	0	0	0	11,000	0	0
	資料購入費	369,882	471,034	705,812	338,079	123,828	230,987	0	0
	広報費	3,377,850	285,140	2,821,633	1,700,704	1,582,130	1,159,113	1,585,834	690,360
	通信運搬費	588,857	561,442	76,413	434,522	0	318,333	0	0
	事務費	1,303,671	676,549	208,353	490,582	426,810	125,376	0	22,840
	合計	6,496,794	3,957,301	4,253,739	3,608,180	2,270,648	2,307,759	1,654,865	713,200
残余金(返還額)	0	362,699	0	0	609,352	0	0	720,000	6,800

※収入額(交付額)は、各月1日(基準日)における会派の所属議員数に、月額6万円を乗じて得た金額の月数分です。

9											8		月日	内容
29金	21木	19火	14水	13火	12火	11月	8金	7木	6水	5火	4月	1金	30水	29火
(総務)	本会議	(文教社会・建設)	(総務・健康福祉)	(文教社会・建設)	(総務・健康福祉)	(総務・健康福祉)	本会議	本会議	本会議	本会議	本会議	本会議	本会議	本会議
議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会
9			11	34		11		23	3	6	9	4		5

◎9月定例会の日程

目の不自由な方のために、点字と声(カセットテープ版、デージー版)の「町田市議会だより」を発行しています。ご希望の方は、議会事務局調査法制係(☎042-724-4049)までお申し込みください。

